

## 学生役員挨拶

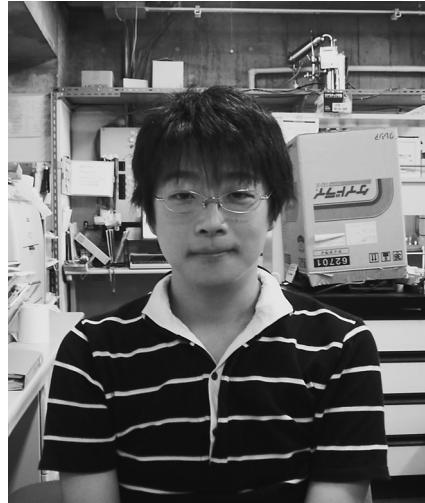
### 今後の抱負

国大化学会学生役員 関 康一郎

国大化学会の学生役員になりました関 康一郎と申します。これまで僕はこういった同窓会と関わったことがなく、何をやってよいか正直わかりませんでした。最初は僕を学生役員に推薦してくださった本田先生に本当に自分でよいのかと言ってしまったくらいです。同窓会は、卒業生が気持ちよく帰って来られる懐かしい場所を残したり、懐かしい仲間と再び会える機会を設けたりすることが役割であると思います。ですが、国大化学会ではさらに「国大の在学生とOBを結ぶ役割」という新しい役割、それは新しい試みとも言えるかもしれません、そのために僕ら学生を役員として選出しているようです。

ここで話はそれますが、僕が「工学部」の化学系に進んだ理由を少し話したいと思います。「工学」というのは人の生活を豊かにする、人を幸せにするための技術を学ぶ学門だと考えています。だから理学ではなく工学の化学をやりたいと考えました。僕は世の中の人を幸せにしたいし、自分にできる無理のない範囲で世の中に貢献したいです。僕が楽しいと思えることをする。それによって世の中に何らかの利益をもたらし、役に立つことができるとしたら最高じゃないかと考えています。そのためには工学が一番だと考えたからです。

ですから学生役員という新しい試みのおかげで、国大出身の大先輩すでに数多く世の中に貢献している方々の話をじかに聞くことができて感謝していますし、いろ



んな方たちと接する機会が増えることはよい人生経験になると思っています。また、横浜応化会と横浜電化材化会、横国化学会の三会が統合し国大化学会となって昨年から始まった学生役員という役割は、新たな同窓会の特色ともいえるでしょう。どこまでができるかはわかりませんが、この新しい同窓会の目指す「国大の在学生とOBを結ぶ役割」を担えるよう努力してゆきたいと思っております。6月の国大化学会の総会も無事盛況のうちに終わり、同窓会の一員として残りの仕事も頑張って取り組んでいきます。